

ここが聞きたい  
一般質問!

### 「一般質問」とは

町の行財政全般にわたって、執行機関(町政)に対し、疑問点をただし、所信を求めることです。町民の生活に関わるとても身近なことが、議員が一般質問をしたことにより、改善されたり始められたこともあります。

議員は年4回の定例会で一般質問をすることができ、定例会開会前にあらかじめ質問内容を提出し、執行機関が答弁を考えます。質問する議員一人につき60分の持ち時間があり、その時間内であれば何回でも質問を繰り返すことができます。

全文詳細はHPに後日会議録として掲載されますので参照ください。

### 第2回定例会一般質問(6月8日(金))

### 宮崎 昌宗 議員

## 交付金返還の肩代わりを

### 坪根町長 十分精査する必要がある



**問** 多面的機能支払交付金事業の成果は。  
**坪根町長** 農産物振興課長 農村環境の保全、農業水利施設の軽微な補修など農村環境の維持管理に大いに役立っていると感じる。  
※地域共同で行う、農地などの様々な機能を支え、地域資源(農地、水路、農道など)の維持管理をする活動を支援する事業

**問** 交付金の返還が生じた原因は。  
**坪根町長** ほとんどが宅地転用である。  
**問** 交付金の返還を町で肩代わりできないか。町は人口1万人を指している。コモンパーク彩葉限定の宅地購入補助金(土地代の8%補助)のように制度をつくり、安心して保全事業と宅地化に取り組める環境整備をするべきでは。  
**坪根町長** 人口増が町最大の問題である。この事業が該当するかどうか精査していかなければならない。しっかりとした計画を早急に考えていきたい。

**問** 今後、事業に取り組みにあたり、対象農地の地権者から承諾書を取る必要があると聞くが、実態は。  
**坪根町長** 人口増が町最大の問題である。この事業が該当するかどうか精査していかなければならない。しっかりとした計画を早急に考えていきたい。

**問** 交付金返還問題が起きている実態は。  
**坪根町長** 平成23年度から平成27年度までに29団体、金額は約90万円である。

**問** 来年度が事業の更新時期だが、継続が困難な団体は。  
**坪根町長** 4割近くの団体が今年度で辞めたい意向で、理由は事務手続きの煩雑化や役員のなり手不足と聞いている。町としては引き続き、継続の話しをしていきたい。

**問** 農産物振興課長 農村環境の保全、農業水利施設の軽微な補修など農村環境の維持管理に大いに役立っていると感じる。

**問** 交付金の返還を町で肩代わりできないか。町は人口1万人を指している。コモンパーク彩葉限定の宅地購入補助金(土地代の8%補助)のように制度をつくり、安心して保全事業と宅地化に取り組める環境整備をするべきでは。  
**坪根町長** 人口増が町最大の問題である。この事業が該当するかどうか精査していかなければならない。しっかりとした計画を早急に考えていきたい。

**問** 行政で事務処理を代行できないか。今年度から制度改正があり、経理や記録作業の事務を地方公共団体やJA、農業生産法人などに委託することができるようになった。町が一步踏み出し、実行してほしい。土地の承諾書の件も個人では無理だ。  
**坪根町長** 現在、水土里ネットに

**問** 農産物振興課長 農村環境の保全、農業水利施設の軽微な補修など農村環境の維持管理に大いに役立っていると感じる。



**問** 今後、事業に取り組みにあたり、対象農地の地権者から承諾書を取る必要があると聞くが、実態は。  
**坪根町長** 人口増が町最大の問題である。この事業が該当するかどうか精査していかなければならない。しっかりとした計画を早急に考えていきたい。

**問** 行政で事務処理を代行できないか。今年度から制度改正があり、経理や記録作業の事務を地方公共団体やJA、農業生産法人などに委託することができるようになった。町が一步踏み出し、実行してほしい。土地の承諾書の件も個人では無理だ。  
**坪根町長** 現在、水土里ネットに

**問** 農産物振興課長 農村環境の保全、農業水利施設の軽微な補修など農村環境の維持管理に大いに役立っていると感じる。

### 三田 敏和 議員

## 緊急災害時の対応策は

### 坪根町長 必要に応じシェルターなどの補助検討

**問** 中津市耶馬溪で雨が降らない中、大規模な土砂災害が発生した。上毛町に近く心配である。町は。  
**岡崎総務課長** 同様のものが起こらないか心配している。地質の観点から、耶馬溪火砕流堆積層ということで、若干地質が異なると認識している。

**問** 高価で個人的購入は無理な方がいる。町長、予算的なものも含めて十分検討をすべきでは。  
**坪根町長** 災害はいつどこで起きてもおかしくない。また、どこで起きるか想定しづらい。危険だろーうと思われの方に何らかの補助を出すなどの対策を検討する。

**問** 今後の事業に取り組みにあたり、対象農地の地権者から承諾書を取る必要があると聞くが、実態は。  
**坪根町長** 人口増が町最大の問題である。この事業が該当するかどうか精査していかなければならない。しっかりとした計画を早急に考えていきたい。

**問** 農産物振興課長 農村環境の保全、農業水利施設の軽微な補修など農村環境の維持管理に大いに役立っていると感じる。

**問** 原因などは把握しているか。  
**岡崎課長** 現時点で公的機関からの発表はない。大分県によると原因究明調査は8月に終わるとの報道がある。

**問** 上毛町のハザードマップの再点検、見直し、新たな追加は。  
**岡崎課長** 県の土砂災害警戒区域・特別警戒区域を反映している。中津の原因が確立していないため、当面結果を見守りたい。

**問** 今後の事業に取り組みにあたり、対象農地の地権者から承諾書を取る必要があると聞くが、実態は。  
**坪根町長** 人口増が町最大の問題である。この事業が該当するかどうか精査していかなければならない。しっかりとした計画を早急に考えていきたい。

**問** 農産物振興課長 農村環境の保全、農業水利施設の軽微な補修など農村環境の維持管理に大いに役立っていると感じる。

**問** 過疎化、高齢化により避難場所までの移動が困難になりつつある。今後緊急に不安を感じた時などの対応策が必要と思うが。  
**岡崎課長** 指定避難場所などへの早めの避難が基本。主に耐震が目的だが今後の検討課題として、木質シェルター、防災ベッドが倒壊などには有効な手段と考えられる。

**問** 今後の事業に取り組みにあたり、対象農地の地権者から承諾書を取る必要があると聞くが、実態は。  
**坪根町長** 人口増が町最大の問題である。この事業が該当するかどうか精査していかなければならない。しっかりとした計画を早急に考えていきたい。

**問** 今後の事業に取り組みにあたり、対象農地の地権者から承諾書を取る必要があると聞くが、実態は。  
**坪根町長** 人口増が町最大の問題である。この事業が該当するかどうか精査していかなければならない。しっかりとした計画を早急に考えていきたい。

**問** 今後の事業に取り組みにあたり、対象農地の地権者から承諾書を取る必要があると聞くが、実態は。  
**坪根町長** 人口増が町最大の問題である。この事業が該当するかどうか精査していかなければならない。しっかりとした計画を早急に考えていきたい。

